

花の苑タイムズ

秋空に和太鼓の響き 和太鼓会が慰問演奏 (神龍我峰八幡太鼓)



市内我峰地区で、古くからの伝統文化を継承する神龍我峰八幡太鼓会がこのほど、高崎花の苑一号館Aユニット・ショールステイの月間行事で訪れ、和太鼓による慰問演奏を行いました。



これは、一号館、二号館各ユニットの利用者様も出席され、「心に響く天上の音色」を堪能されました。(当日の様子は二面ユニットたよりに掲載)



同会は現在、地域の各種イベントに参加し、地域おこしなどの地域密着を予定しています。

新高尾公民館はがき絵の会の皆さんが作品展の最終日(十月二十一日)記念撮影を行いました。

地域交流作品展

活動に取り組む他、青少年健全育成や介護施設へのボランティア慰問訪問など幅広い活動を行っています。

平成28年11月10日発行
第26号
〒370-0002
高崎市日高町433-1
TEL:027-329-7211
社会福祉法人健全会
特別養護老人ホーム
高崎花の苑広報委員会

「小菊の寄贈」

今年も鮮やかな黄色やピンクの小菊(玉菊)が玄関の庭先や各ユニットのベランダで甘い香りを放ち、ご利用者の目を惹かせてきています。寄贈してくれた小林農園様は「施設の皆様が少しでも喜んでくれるのなら」と話していました。



十月交流イベント

十月度は高崎落語愛好会(代表・吉田有二様)による「花の苑寄席」を実施(写真)した他、秋桜カラオケ教室、アジサイクラブ、なかよしクラブ等が来苑されました。



地域揭示版

新高尾地区文化祭は十一月三日を中心に開催され、絵画やはがき絵などの作品展の他、芸能発表が行われました。高崎花の苑では、代表数名のご利用者が出席されました。

畔道



「子育てへの一考察」
それぞれの土地には、それぞれの風土があり、その風土の中で固有の生命の営みがあります。家庭という環境は、人間を育む風土そのものといえるでしょう。

家庭には、それぞれに歴史と伝統もあります。子どもを育む豊かな家庭の基盤は、今ある心の姿そのものではないでしょうか。

支え合う心こそ大切
家庭同士が多分に理解し合い、支え合い、思いやる心。子供に寄せる愛情。お年寄りに対する思いやる心。隣近所の人達との温かい交流。等々ま

さに、地味(ちみ)豊かな大地そのものです。豊かな心は、家庭の風土の基盤になりうるが、それだけではひとり立ちのできる逞しい子どもには育ちません。家庭の協力や責任を果たしあう姿。親の誠実に働く姿や学ぶ姿。親の希望を失わない明るい姿。互いに他を尊敬する言葉使いや挨拶を交わす姿等が無ければなりません。また、ある程度高い期待感もなければならぬと思います。

試練が人を育てる
さて、以上のような事が豊かな家庭の風土づくりに欠く事の出来ないものと思いますが、人間として逞しく育てるためには、人間を除く自然界の動植物が厳しい試練に立たされながら逞しく成長していくように、子どもにも、厳しさの体験が必要であることは言うまでもありません。

(社会福祉法人健全会 理事 秋山末司)

